

事務事業評価シート

評価年度	平成29年度	対象事業年度	平成28年度
------	--------	--------	--------

所属・担当者氏名	福祉部 社会福祉課 地域福祉係 奥 雅美	評価責任者 (担当課長)	社会福祉課長 久保寿史
----------	----------------------	-----------------	-------------

1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称	敬老会開催事業		② 整理番号	02220303-001
③ 第4次総合計画の施策の体系	章	心豊かな市民・教育・福祉		
	節	安心と健康、生きがいのある福祉社会の実現		
	項	高齢者福祉の充実		
	号	活力のある高齢期の生きがいづくり		
④ 関連する個別計画	なし		⑥ 事務の種類	
⑤ 根拠法令・条例等				

2. 事務事業の概要

① 目的 (何のために)	高齢者の生きがいづくりと閉じこもり防止
② 対象 (誰・何を対象として)	・市内在住 ・昭和21年9月末日までに生まれた方
③ 手段 (どのようなやり方で)	・文化会館において敬老の御祝い式典を開催。式典終了後、芸人による余興を実施。対象来場者に簡単な記念品(飴)を配布する。 ・対象来場者の利便性を考慮し、マイクロバス7台による無料運行の実施 ・当日不参加の対象者には後日市役所において記念品を配布
④ 成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	事業目的のとおり

3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移 ※概算人件費は「人件費計算シート」による (単位：千円、人)

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
① 直接事業費	4566		6052		6413		6019		(予算) 7,423
② 概算人件費	(22.00)	1,735	(24.00)	1,491	(26.00)	1,405	(26.00)	1,245	
一般職員(職員数)	(22.00)	1,735	(24.00)	1,491	(26.00)	1,405	(26.00)	1,245	
嘱託職員(職員数)									
臨時職員(職員数)									
③ 合 計 (① + ②)	6,301		7,543		7,818		7,264		0
④ 特定財源 (国・県支出金、市債など)									
⑤ 一般財源 (③ - ④)	6,301		7,543		7,818		7,264		0

4. 評価指標

種類	指 標 名	指標の算出方法等	実 績 値			
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
活動指標	① 対象者数	決算附属書類より	13,016 人	12,973 人	13,152 人	13,279 人
	②					
成果指標	① 当日来訪者数	式典に出席しなかった者を含む。	3,000 人	3,000 人	3,000 人	3,000 人
	② 参加率	当日来訪者数/対象者数	23.0 %	23.1 %	22.8 %	22.6 %
効率指標	① 対象者1人あたりのコスト	事業費/対象者数	484 円	581 円	594 円	547 円
	②					

5. 項目別評価

評 価 の 視 点	3段階 評 価	評 価 の 根 拠
①妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	A	本市の発展に長年尽力されてきた高齢者に敬意を表する意味からも、行政が主体となり、実施すべき事業であると思われる。
②有効性 (成果は向上していますか、向上していない場合向上のために改善の余地はありますか)	B	敬老会来場者は前年度と比べ横ばいであった。閉じこもり予防の観点から考えると何としても来訪したいと思う事業企画の考察とそれに伴う来場者増加に対応した開催場所について検討する余地がある。
③効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、不適切な場合改善の余地はありますか)	A	対象者数は増加しているものの、人件費の減少に伴い前年よりコストは減少した。すべての対象者の方に記念品が届くことは前提であることから本来のコストはもっと高くてしかるべきである。

6. 今後の方向性 A 現状のまま継続、B 見直し（重点化、縮小、統合など）のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判 定	具体的な改善・見直しの内容（「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。）
B	☒ 人件費の重点化 ☐ 予算の重点化 ☐ 事業の縮小 ☐ 事業の統合 ☐ 実施内容の変更 ☐ その他

7. 2次評価 A 現状のまま継続、B 見直し（重点化、縮小、統合など）のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判 定	具体的な改善内容・改善計画（「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。）